# *ALSO プロバイダーコース*

# *～金沢大学～*

**A**dvanced **L**ife **S**upport in **O**bstetrics(**ALSO**)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもある。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians（AAFP－米国家庭医学会）によって認可され、現在全米では多くのの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78%がALSOをプログラムに導入している。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50ヵ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了した。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験（メガデリバリー）がコースに含まれている。ALSO は LDR における産科の救急的対処を強調しているが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者－医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれている。 プロバイダーコースは二日間。重要レクチャーは妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の９つ。少人数グループによる重要ワークショップは肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例の５つ。オプショナル・ワークショップ：会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の５つ。 **プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は５年間有効の認証を受けることができる**。プロバイダーコースの教官になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、平成 22 年８月までに約 350 名が ALSO コースを修了した。参加者は**産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生**などであり、現在あるいは

近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、**産科医療に関わりたいという志を持った人たち**をトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが ALSO であり、今後日本で普及していくことを願ってやまない。

*ALSO-Japan*

セミナー：ALSO プロバイダーコース
主催：NPO 法人周生期医療支援機構（OPPIC）
共催：周生期医療専門医養成学講座
開催場所：金沢大学医学類教育棟 地下大多目的室
日時：平成 22 年 12 月 18 日（土）、19 日（日）

※優先参加申込後、参加人数枠に空きがあった場合一般参加受付を行います。一般参加受付については、NPO法人周生期医療支援機構（OPPIC）ホームページNews でお知らせ致します（http://www.oppic.net/）。それまでは、申込に関するお問い合わせには一切ご対応できません。



# 金沢大学
# 宝町・鶴間キャンパスマップ




KANAZAWA UNIVERSITY

| *ALSO-JAPAN 2010 ③ at Kanazawa University　COURSE SCHEDULE* | |
|---|---|
| 8月28日（土） | 8月29日（日） |
| 8:30 AM – 9：00 AM<br>受付 | 8:30AM – 9:00 AM<br>C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血 |
| 9:00 AM –9:30 AM<br>F: Labor Dystocia 難産 | 9:10 AM – 10:10 AM<br>G: Malpresentations 胎位・胎向異常 |
| 9:40 AM – 11:00 AM<br>H: Assisted Vaginal Delivery 吸引／鉗子 | 10:20 AM – 11:50 AM<br>K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生 |
| 11:10 AM – 12:30AM<br>E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例 | 12:00 AM – 13:10AM<br>B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例 |
| 12:30PM – 1:30PM<br>Lunch<br>L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性 | 1:10 PM – 2:10 PM<br>Lunch<br>会陰縫合（希望者）、分娩時の超音波検査（希望者） |
| 1:30 PM – 2:30 PM<br>I: Shoulder Dystocia 肩甲難産 | 2:10 PM – 2:40 PM<br>Rest　休憩、試験準備 |
| 2:40 PM –3:10 PM<br>A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症 | 2:40 PM –4:40PM<br>Megadelivery & Written Examination |
| 3:20–4:40PM<br>J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血 | |
| 4:50–5:20PM<br>D: Preterm Labor and PROM 早産と前期破水 | |